

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 13日

事業所名 多機能型事業所KISEKI

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	3	1			日々の利用人数に対して適切な配置を行っている。送迎専門の職員を配置し送迎負担を軽減した
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	1		表示等の不足箇所は都度行っており、バリアフリーは必要に応じて設置する
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1			日々の目標、狙い等を朝会で情報共有を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1	1		評価内容を職員全員に周知し、保護者の声を把握するように共有する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2			ホームページをリニューアルし自己評価結果をわかりやすく公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	1		外部評価実施については検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1			外部へ研修に行く機会を設けているが、今後は積極的に参加を促していく
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	2	1		保護者面談を増やし今までより密に情報共有を行い、支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1		アセスメント表や面談での記録をもとに子ども達の状況を把握している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			児童発達支援管理責任者がリーダーとなり立案を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			静と動を組み合わせ、活動内容が偏らないように職員全員でプログラムを考え支援をしていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1			その日その日で目的や狙いを変えて支援を行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			日々の利用状況、子どもの年齢に合わせて個別、集団療育を織り交ぜて計画を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1			毎朝朝会を行い、子供たちの様子や支援内容について情報共有を行っている

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2			支援後のまとめ時に職員間で情報共有を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2			日々の支援後に記録のまとめを行い、後日振り返りができるようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		1		保護者面談を増やし今までより密に情報共有を行い、支援計画を作成している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	2			児童発達支援管理責任者を中心に日々の活動の中に取り入れています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			児童発達支援管理責任者が参加し、会議後職員へ情報共有を行っている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	1	1		児童発達支援管理責任者が学校や相談員と連絡を取り合い児童にとってより良い支援の情報共有をしています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	1		児童発達支援管理責任者を中心に支援内容について情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			児童発達支援管理責任者を中心に支援内容について情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		外部機関と連携して講師を招いて研修等を行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4		コロナ禍だったため外部との交流の機会は設けなかったが、今後は状況をみて交流イベントの開催を検討する
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	2	1		子ども支援部会が開催している会議等へは児童発達支援管理責任者が積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2			保護者面談を増やし今までより密に情報共有を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	3		ペアトレ等は実施していないが、保護者面談を増やし個別に対応をしている

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1			保護者面談を増やし、直接会って助言や支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	3			保護者会の開催については検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2				相談や申し入れがあった際には迅速に対応し、職員全員での協議が必要の際にはその旨を伝え後日回答しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	2			インスタを活用した活動内容の発信、ホームページをリニューアルしより見やすい環境構築を行っている
	35	個人情報に十分注意している	4					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	2				日々の職員会議で児童それぞれの情報共有を行い誰でも対応できる体制にしています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2			地域の方々との交流会も実施している 今後もイベント開催を検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2				各マニュアルを作成し、見える位置に設置済み 訓練は年2回を予定している。訓練前にはマニュアルを再確認し訓練に臨みます。保護者様へ分かりやすく周知、説明していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2				避難訓練は年2回予定しており、事前に避難訓練計画書を作成し職員全員でマニュアルの確認を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	1			虐待防止マニュアルを作成し、読み合わせや事例を使った研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2				支援計画説明の際に説明は行っています。今後も継続して説明を行っていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	1			保護者様からの情報を基に連携医療機関に相談するようにしています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1				ヒヤリハット事例が発生した際は事業所内で全員に共有を行っている。